

南アルプスの豊かな自然を守ろうプロジェクト

～ しずおかの宝「南アルプス」を次の世代につなぐために ～

寄附目標額
5億円

関連するSDGsのゴール



1. 事業概要について

南アルプスとその麓の地域は、「人と自然が共生する地域」として、平成26年にユネスコエコパークに登録されました。「『高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性』の継承」の基本理念を実現するため、南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）に基づき、「自然環境の保全」「調査と教育」「地域の持続的な発展」の3つを主軸に、南アルプスの保全と利活用に取り組んでいます。

2. セールスポイントと独自性

南アルプスユネスコエコパークには、そこにしか存在しない固有の植物や、絶滅危惧種に指定された動物など、守るべき希少種が数多く存在します。

本市では、これら自然の「保全と利活用」を推進するため、高山植物保護や、市内高校生を対象とした高山植物保護セミナーなど、「静岡市ならでは」の取組を行っています。また、南アルプスユネスコエコパーク・ミュージアムの整備を通じて、南アルプス独自の自然と文化・歴史を発信するとともに市営の山小屋や登山道を整備し、南アルプスの豊かな自然環境を実感していただきます。

企業の皆様のお力添えにより、本市の世界に誇る資源を守り、活用していくためのさらなる取組が実現できると考えています。

3. 現状と課題

【現状】

ニホンジカによる高山植物の食害や、それに伴うライチョウ生息域の減少が著しい。また、山小屋や登山道の老朽化が進んでいる。

【課題】

南アルプスユネスコエコパークの認知度が低いため、南アルプスの希少動植物の保全に対する意識醸成が難しい。多くの方に南アルプスに関心を持ってもらえるよう、情報発信の拠点であるミュージアムや老朽化した山小屋・登山道を整備する必要がある。



老朽化した高山裏避難小屋



修繕が必要な茶臼岳登山道



荒川岳のお花畑とそこから見える赤石岳

4. ベネフィット

10万円以上

・感謝状の贈呈・市HPへ企業名、企業ロゴ、寄附金額、企業概要等の掲載

100万円以上

・南アルプスユネスコエコパーク・ミュージアムにて企業活動等掲示

メッセージ

南アルプスは、豊かな自然と、その恵みを受けながら育かれた人々の営みの共生が、ユネスコエコパークにふさわしいとして世界に認められた特別な地域です。

南アルプスの唯一無二の自然を守り、後世に残していくため、皆様のご支援、ご協力をお願いします。



世界南限に生息する
特別天然記念物のライチョウ

[担当： 環境局 環境共生課 TEL054-221-1357]